

令和8年第1回奥出雲町総合教育会議 会議録

日 時 令和8年3月18日(水)
 開 会 午後4時00分
 閉 会 午後4時45分
 場 所 奥出雲町役場仁多庁舎 3階301会議室
 出 席 者 糸原保町長 川本健二教育長 福田充雄教育長職務代理
 谷尻圭子教育委員、松崎百合子教育委員、小林勝吾教育委員
 事 務 局 江角啓総務課長 高尾昭浩教育魅力課長 中林匠教育魅力課長補
 佐、石原啓子会計年度任用職員

江角総務課長

※開会宣言

糸原町長

(挨拶)

高尾課長

<協議・調整事項>

(1)について

※経緯等説明(事務局から素案資料により説明)

国から第2期教職員の働き方改革プラン策定の方針が出され、島根県は3月中に策定の準備が進められている。本町も県の素案をもとに本町に即した第2期奥出雲町立小中学校教職員の働き方改革プランの素案を策定している。

取組期間：令和8年度から11年度の4か年

策定期間：令和8年3月

糸原町長

教育委員の皆様よりご忌憚のないご意見、お考えをお聞かせいただければと思います。教育長さんの方から。

川本教育長

先ほど、課長からありましたように、令和5年の12月に県下19市町村の教育長が共同メッセージを發しました。内容については、町のホームページに載せておりますが、非常に重要なことでもあります。1つの例を申し上げますと、勤務時間外には学校へ電話しないとか、夜の会議はなるべく減らすとか、朝夕の見守り活動は、地域の方をお願いするとか、そういったことも含めて共同メッセージをしたところなんです。今回の働き方改革については、やはり、教員不足、先生方が非常に少ないということもありますし、健康、ライフワークバランスのうえからも、そういう観点からも今回の改革プランというのは非常に大切ではなからうかと思っております。

具体的な数値目標もありまして、また、働きやすい職場、職場にやりがい、そ

<p>福田職務代理</p>	<p>確か各校に1名が基準だったと思うのですが、その1名で本当にどこまで負荷を減らせているかということは今後検証していただいて、もし、予算が付くのであれば、増員というのを検討していただければなと思っております。以上です。</p> <p>全体的には、いいものになっているなというのは、思っています。ただ、教職というのは、言い方は悪いけど非常に特殊な仕事でして、どちらかという、働きやすさよりも働き甲斐を求めるのが教員だと思うのですよね。そういったときに働き甲斐っていうと、どうしてもここまでやらないといけないみたいなね、そんな思いが教員の中にはあります。特に、学校にいる時間は、あれかもしれないけれども、次の日の授業の準備をするにはですね、帰ってからじゃないとできないんですよね。それだけの、学校そのものに必要な業務というも学校の中でやって、帰って、子どもを寝かせてから夜中にみたいな生活は、ずっと多分、繰り返しているのだらうというふうと思うのですよね。そこら辺の実態をよく、校長や教頭がきちんと把握していることがまず大事かなというふうに思います。</p> <p>したがって、何が言いたいかという、僕が大事なのは、プランを作ることよりもプランの進捗状況をどう把握するのかというのが大きな課題だろうというふうに思っています。プランの策定のところの4番目にプラン進捗状況の点検云々があるけれども、これは、確実にやらしてもらわないといけない。もしないと計画が計画だけに終わってしまって、実質を伴わない部分になると思うので、そこらへんについては、この総合教育会議の役割として、年度ごとにきちんと確認をしていくような体制を取っていただきたいというふうに思っています。いずれにしても教員はどちらかという、時間の使い方がへたなんですよ、私も含めて。時間がいっぱいあるのだと思ってやるからこんな話になるので。そこらへんの教員の意識も話していきながら意識を変えていくことも必要だろうなというふうにも思っています。これが、うまくいくためには、教育委員会もそうですし、それと管理職の意識みたいなのも含めてね、みんなで、きちんと作っていくのだという思いで取り組んでいかないといけないかなと思っておりますので、そこらへんについてよろしくお願ひしますというふうに思っています。</p>
<p>川本教育長</p>	<p>先ほど、福田委員からお話がありました、検証とか、実際については、7ページの中に、必須というところの(2)の町立学校における教職員の働き方改革を進めるための具体的な取組があります。その学校経営方針、評価・育成シートへの盛り込みということで、すでに校長会に、きちんとした形で入れた内容で、進めてほしいと話をしております。従いまして、令和8年から学校の運営方針の中に入れてもらったりしますので、かなりの前進かなと思います。今までこういった視点はありませんでしたので、いいのかなと。</p> <p>また、令和6年、7年もあったのですけれども、時間外の状況が分かりまして、45時間以上の教職員がいるときには、私の方から管理職の方へ電話で連絡をし</p>

<p>福田職務代理</p>	<p>した、最初のころは。校長先生に直接ですね、指導をお願いしますと連絡しております、だいぶ改善されましたけれども、限られた先生がいるということがあって、校長先生にも話をさせていただいているというような状況でございます。</p> <p>ぜひ、そういうのを続けて。教育長さんがえらいけど。やはり、ことあるごとに言わないとなかなか難しいと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>谷尻委員</p>	<p>成績表とか、評価のことを子ども達にされますよね。それがやはり、今、3学期制なので、それが2学期制にすると、少しは楽じゃないかなと思っていて。試行的にでもいいから8月、7月、8月のあの暑い時期、子どもたちは勉強を一生懸命やろうと思っているのですけれども、エアコンが入ったにしても、やはり、難儀な月ですよ、夏は。そうすると、やはり、2学期制というのは、奥出雲町には入れられないのかなと。すると、少し、先生が遊ぶ時間、遊ぶ時間がもっと欲しいかなと。先生って遊べないという。クラスの人数は少ないから都市の学級数ではないし、少ないから、先生と遊ぶ時間を子どもたちにもっと持たせてもらって、奥出雲町の教育というのは、来る先生は難儀と思うかもしれないけれども。どちらかという、奥出雲町は、若い先生が、多いときが。新卒とか、何年かの若い先生が割とおられますので。遊んでもらうってということがもうちょっとほしいなという。2学期制になったらそれができないのかなという。でも、持ち帰りの先生たちの勉強もやはり、起こるのかなと思いますけれども。</p>
<p>川本教育長</p>	<p>2学期制については、今、出雲とかですね、県内でも始まっております。奥出雲町は、校長会でこういったところがありますよという話をさせていただいています。すでに時程の変更ということで、今まで朝礼をしていた分を、朝礼をやめたりですね、時間を短縮したりとか、始まってきていますので。各学校の取り組みとして。今回、4校になりますから。そういったことも非常に前向きに、話がしていけるのかなと。こういった改革プランをもとにして、いけるかなと思っている状況です。</p>
<p>福田職務代理</p>	<p>事務の共同実施がね、今までは、たくさんの事務員が、事務さんがいたからいろいろなことをみんなでしてきたけれども。今度、4校になるんだよね。そのところの事務の共同のあり方みたいなものもやはり考えていく必要があるかなと思っていて。事務さん同士の中で具体的な共同のありようみたいなのを話し合ってもらう機会をぜひ作ってほしいなというふうに思っています。</p>
<p>川本教育長</p>	<p>共同学校事務室についてはですね、国の大きな動きがありまして、令和10年には、全国すべて、共同学校事務室を設置するという動きになっておりまして、奥出雲町もそれに遅れずにやっていく。ただ、共同学校事務室については、事務職員の人事権が県の方にございまして、あと、条例等で町が整備した中でも進めて</p>

	<p>いくと。そこに室長を置いて、いままでの校長の権限の一部を室長が持つということも出てきます。ご意見をいただきましたので、そういった機会を考えていきたいと思います。</p>
福田職務代理	<p>ぜひ、お願いしたいと思います。</p>
小林委員	<p>1 ついいですか。谷尻委員さんのお話に付随してなんですけれども。部活の外部委託とか、指導の外部委託というのは、時間の関係上、すごくいいと思うんですよ。先生の中には、それがしくて教員になっている先生も確かにあって、それを進めるタイミングをですね、いろんな対応を考えていただきたいという気がします。</p>
高尾課長	<p>兼業制度という形で、教員の勤務が終わって、簡単に言えば、4時50分までが勤務時間、理論上ですよ。終わった後に、兼業として、外部展開をしている部活動に、剣道だったら剣道の指導をするというような制度設計は進みつつあるところですよ。</p>
川本教育長	<p>令和8年度のバレーボールの地域展開については、今、課長が申し上げた内容で、学校の先生が勤務時間が終わった後の兼業として、指導者として対応していただくと。すべての部活がそんな形になればいいのですけれども、なかなか、すべてがならない。経験のあまりない先生が部活動の指導に関わっていることもあります。また、やりたいという方もいらっしゃいますので、その気持ちを大切にしていきたいと思います。</p>
糸原町長	<p>大事なところなので、私は、思うのですけれども、極力やはり、事務的な仕事は、効率化を図っていただく。本当は、役場もですけれども、きちんと仕事を割り振ってあるはずなんだけれども、特定の人が残業、どうしてもやり方、進め方もあるんだけれども、仕事が偏るから。それを何とかとって分散するということは、事務仕事はあるんですけれども、先生の仕事って。子どもの仕事をこちらへというのはなかなかならない。そういったところはなかなか難しい仕事だなというところ、極力、谷尻委員さんのお話があったように、仕事をできるだけ減らして2学期制でもいいし、いろんな工夫をして、子どもさんと触れ合う時間は、何とか取っていただくような形にしてほしいなということ。今、いろいろテレビとかで、教員はしんどいところが引っ張り出されて、やはり、最初2ページのところがありますが、教職を志す人材の確保ということで、教員のいいところも、やりがいのあるという仕事のところも何とか出していただいてですね、地元の子どもも、「先生、いい仕事だな」と思うようなところを見せてというとな変な言い方ですけれども、実際、やりがいのある仕事であると思いますし、魅力をしっかり出して、教職をぜひ、志す子どもたちが来てくれるといいなと私は個人的に思い</p>

	<p>ますので。そこらへんは何とか、取り組みの中で、働き方改革と教育予算、ここに書いてある通りですが、取り組みが出来たらいいなと思います。</p> <p>そういう、今日出たお話も特に入れながら、見直しとか、事務局の方でしっかりとしていただくといいかなと思うところです。一応、36協定なんかを少しイメージした、360時間とか、45時間ということで。協定を組むわけではないけれども、目安として。</p>
川本教育長	<p>そうですね。今までは学校単位で360時間、45時間。今度は、1人でもそういった人がいたらいけないよということに変わってくるというのが、今回の改革の一番大きなことかなと思っております。</p>
糸原町長	<p>年休もしっかりと取っていただきたいし。</p>
川本教育長	<p>子どもに向き合う時間をいかに増やすかということが一番だと思います。</p>
福田職務代理	<p>だけど、それを増やすと他のことが出来ないということもあって、裏腹があるんですよね。</p>
谷尻委員	<p>これ、分からなかった。緊急時、土曜閉庁、土日休みの時なんかの緊急時の対応は。読み切れなかったのですけれども。学校が休みの時の緊急時、教育委員会がみんな受けるという仕組み。</p>
高尾課長	<p>例えば、夏季閉庁日を設けております。山の日から10日ぐらい閉庁日にしておりますけれども、その時には、保護者の皆さんには、教育委員会に連絡をしてくださいというような形でアナウンスをして、それで、緊急連絡があった場合にその内容に応じて学校長に連絡をするということです。幸いに、緊急時にそのような連絡を今まで受けたことはございませんけれども、そういう対応を取ります。</p>
谷尻委員	<p>それはやはり、教頭先生だったり、校長先生より教頭先生の方へ先に行くという、担任の先生抜きで、という学校が多いというか。緊急時、受けるのは、そういう形が多いかなと思ったりしたので、心配をしたんですけれども。休みに休めないという先生たちがあつたかもしれないなと思ったので、聞いたのですけれども。大体は、全部、教育委員会にそういうものが入ってくるという流れになっているのですね。</p>
高尾課長	<p>そうですね。例えば、閉庁日に火災報知器が鳴っているというところも私の方に電話がありまして、対応するという。</p>

川本教育長	大雪等があった場合には、校長先生、教頭先生、ラインワークスという連絡方法を使って対応しています。
福田職務代理	そういう意味では便利になりましたよね。緊急がね、なかなか取れなかったんだけれども。今は、ラインさえ組んであれば。
糸原町長	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでしたら、今日それぞれ皆さんの意見をいただきました。このプランでしっかりと進めていきたいと思えます。事務局の方、よろしくお願ひしたいと思えます。</p> <p>それでは、これをもって総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございます。</p> <p>※閉会宣言</p> <p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p>
糸原町長	糸 原 保
川本教育長	川 本 健 二